

埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

1 整備計画概要

医療機関名	医療法人社団愛友会 伊奈病院
所在地	北足立郡伊奈町小室 9419
整備（増床）病床数	30床
（医療機能別内訳）	地域包括ケア病床30床

2 開設（予定）年月：令和4年7月

基本設計：令和2年6月

実施設計：令和2年12月

着工：令和3年3月

竣工：令和4年5月

新築移転地：北足立郡伊奈町小室宮寺 5014 番 1

（現所在地から南西に直線距離約 800m、車で約 1 km 4 分）



3 病床整備による地域医療課題への対応目標

新病院建築後の増床の為、現在の地域包括ケア病床 12 床による、より効果的な運用を模索しトライ&エラーで取り組んでいる。これまでの取組みにより、下記のとおり、ある程度の成果と課題が見えてきている。

・ポストアキュート受入

2017 年度 40 件(3.3 件/月)

2018 年度 43 件(3.6 件/月)

2019 年度 70 件(6.4 件/月) 2020 年 2 月末現在

・救急車受入

2017 年度 1039 件(86.6 件/月)

2018 年度 959 件(79.9 件/月)

2019 年度 946 件(86.0 件/月) 2020 年 2 月末現在

・紹介受入

2017 年度 2286 件(190.5 件/月)

2018 年度 2263 件(188.6 件/月)

2019 年度 2212 件(201.1 件/月) 2020 年 2 月末現在

ポストアキュート受入強化により、2019 年度の受入件数は 2017 年度の 2 倍弱に増加。

サブアキュート受入強化により、2019 年度の救急受入および紹介受入件数は過去最多であった 2017 年度を超える状況。

それぞれの依頼件数も増加の一途であり、その結果、2019 年 9 月以降、ベッド高稼働となり、ベッドコントロールに苦慮。新規受入が困難となり、断りにつながってしまった。特にポストアキュートで受入れた患者に対する在宅復帰支援の強化が急務であり、退院支援専従看護師の他に、各病棟に専任看護師を育成中。このほか MSW を 2020 年 4 月に 2 名増員する。

在宅復帰率の施設基準を維持しなければならない中で、退院先としての在宅扱いから外された老健との連携が取りにくく、このシステムを回していく上でのボトルネックになっていると思われる。

ポストアキュートで受入れた患者の多くは療養病棟希望者であって、退院支援、特に在宅復帰は相当難しい症例が多くを占める。増床後、地域包括ケア病床が 42 床となっても、当地域の課題解決のためには、県央医療圏内の地域包括ケア病床がまだまだ不足しており、当院内の問題を改善できたとしても、この機能を支えるのは困難である、と感じている。

紹介受入の機能も強化が必要であるため、特に依頼を受けてから受入決定までのスピードアップを目的に、地域連携担当として 2020 年 4 月に院内異動で新たに看護師を配置する。

4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
2018年12月～ (毎月2回開催)	上尾中央総合病院 (全11病院・施設)	「オープンカンファレンス」全27回参加 早期転院を目的とした具体的症例の受入検討
		2020年2月末現在

5 その他（医療従事者の確保状況等）

- 医師の増員募集は内科、脳外科、整形外科、外科、眼科で行ない、2020年4月の採用は4名（整形2名、外科1名、眼科1名）が決定。
- 一番必要な内科、脳外科の医師採用に至らず、非常に苦戦している。
- 特に希望者の少ない看護助手は、2020年夏頃にベトナムから技能実習生として2名の受入を予定している。
- その他の職種の採用は順調に進んでいる。